

2016年9月29日

報道関係者各位

甲 南 大 学

プレスリリース（2016.9.29）

本日、下記にかかるプレスリリースを別添資料のとおり配信いたしますので、ご査収いただき取材ならびにイベント告知欄掲載についてご検討くださるようお願い申し上げます。

記

○甲南大学ギャラリー・パンセ企画展「欠片の復元力～三聖病院の余材から～」開催のお知らせ

○甲南大学現代講座 羽田圭介氏講演会「コミュニケーションの他者性と洗練」開催のお知らせ

○甲南大学人間科学研究所甲南アトリエ企画「第4回 親子孫子で楽しむアート ～和紙で造形してみよう～」開催のお知らせ

《本プレスリリース全体に関するお問い合わせ先》

甲南学園広報部 担当：松岡

〒658-8501 神戸市東灘区岡本 8-9-1

電話 078-435-2314 FAX 078-435-2546

Email: kouhou@adm.konan-u.ac.jp

プレスリリース配信先：兵庫県教育委員会記者クラブ

以 上

欠片の復元力
～三聖病院の余材から～

[illegible]

開館時間 月～土 9:00～18:00
日・祝 9:00～17:00
観覧料金 無料

2016年
9月16日(金)
10月15日(土)

会期中無休

築90年の木造建築物がひとつ、姿を消しました。

関わった人々がさまざまな思いで過ごしたその場所に「廃材として」残されていた木材や、けらには、隅々にまで人の手と時間が育てた豊かな存在感がありました。

使い古されたモノに
しか醸し出せない
ものとはなにか。
声なきモノからどの
ように流れ去った
時を聞けばよいか。
時には考古遺物の
ように、時には友
達のアルバムのよう
に
残された欠片（か
けら）と向き合つて
みましょう。

Galerie
Pensée

甲南大学ギャラリー・バンセ
(甲南大学5号館1階)



欠片の復元力

～三聖病院の余材から～

甲南大学では毎年、国内外で活躍している作家による展覧会を行っています。展覧会の企画・運営は、博物館実習生が中心となって取り組んでいます。今年は、取り壊される建築物からウクレレをつくる「建築物ウクレレ化保存計画」、取り壊される建築の「お見送り」、今では使われなくなった燃料「亜炭」について聞き取り調査を行う「亜炭香古学」など、ユニークなアートプロジェクトで活躍する美術家・伊達伸明氏による展覧会を開催します。

関連イベント

トークイベント「空間記憶を読む」

9月25日(日) 15:00～17:00

ゲスト 伊達伸明(出展作家)

三脇康生(仁愛大学大学院臨床コース教授/精神科医/美術批評家)

聞き手 服部 正(甲南大学文学部 准教授)

会場 甲南大学5号館511教室(ギャラリー横)

聴講無料・予約不要



展示監修 伊達伸明(だて・のぶあき)



三聖病院

1964年 大阪生まれ

1991年 京都市立芸術大学美術学部大学院工芸科修了

学生の頃より楽器、音に関わる作品制作を始め、2000年より取り壊される建物の部材の一部を用いてウクレレを制作し、肌感覚から建物を保存しようとする「建築物ウクレレ化保存計画」をスタート。現在までに寺院、学校、一般住宅など68(8月現在)の物件の建物をウクレレ化。

各地での個展やトーク・ワークショップなどの他、水戸芸術館(2002年)、兵庫県立美術館(2005年)、国立民族学博物館(2005年)、大阪市近代美術館心斎橋展示室(2006年)、大阪歴史博物館(2011年)、アルコミュージアム(ソウル/2011年)などで建築物ウクレレを展示している。

ウクレレ以外では「未来への素振り」(小山田徹との共同展示/京都芸術センター/2010年)、「池上遊覧鉄道」(岡田毅志との共同制作/總社市池上邸/2011年)、「一弦さん」(楽器は語る/国立歴史民俗博物館/2012年)、「亜炭香古学」(仙台市内/2012年)などのアートプロジェクトを行う。

会場

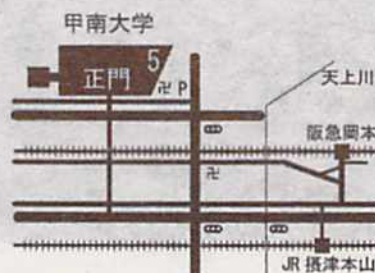
甲南大学ギャラリー・パンセ(甲南大学5号館1階)

〒658-8501 神戸市東灘区岡本8-9-1

阪急神戸線岡本駅より西へ徒歩10分、

JR神戸線湊津山駅北口より北西へ徒歩12分

※ 駐車場はございませんので、公共の交通機関をご利用ください。



Galerie
ギャラリー・パンセ
Pensee

<お問い合わせ先>

078-435-2572 (担当教員: 服部)

078-435-2675 (文学部事務室)

Hada
Keisuke



講演テーマ:「コミュニケーションの他者性と洗練」

羽田圭介氏講演会

芥川賞作家

入場
無料

開催
日時

©文芸春秋

講演会終了後、
サイン未記入の羽田氏の
本を持参された方のみ
サイン会を行います。

2016 10.8[sat] 14:00-15:30

会場 甲南大学 岡本キャンパス甲友会館

開場 13:00

13:50までにご着席ください。



PROFILE



羽田圭介氏

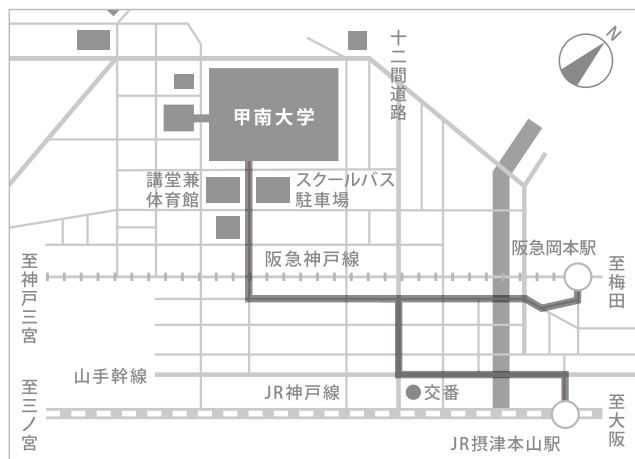
1985年、東京生まれ。2003年、高校生のときに「黒冷水」で文藝賞を受賞、作家デビューを果たす。
 明治大学商学部を卒業後、2008年「走ル」、2010年「ミート・ザ・ビート」、2014年「メタモルフォシス」が芥川賞候補になった。
 2015年、「スクラップ・アンド・ビルド」で芥川賞受賞。芸人・又吉直樹さんの「火花」との同時受賞でも話題になった。

INFORMATION

開場時間	13:00～
定員	400名
入場方法	●13:50までにご着席ください。 ●混雑時、整理券を配布することがございます。 ※お一人様一席のみの受付となります。 ※混み具合によってはお連れ様と隣同士でお座りいただけない場合がございます。あらかじめご了承ください。
問合せ先	甲南大学 現代講座実施委員会 E-mail: genkonan@gmail.com

周辺MAP

甲南大学 岡本キャンパス



〒658-8501 神戸市東灘区岡本8-9-1

JR神戸線摂津本山駅から徒歩12分 阪急神戸線岡本駅から徒歩10分

CAMPUS MAP



注意事項

- 大学には駐車場はありません。公共の交通機関を利用してお越しください。
- 同伴者の席取りはご遠慮ください。
- 会場内での飲食、講演中の録音・写真撮影・携帯電話の使用はお断りさせていただきます。
- 講演途中の入退室はご遠慮ください。
- 定員に達し次第、受付を締め切らせていただきます。あらかじめご了承ください。
- 記載内容を急ぎよ変更する場合がございます。
- 天候不良などによる変更等の緊急なお知らせはHP、Twitterをご覧ください。

現代講座とは

現代講座とは、各界で活躍している著名人を甲南大学にお招きして、通常授業では知ることができない専門分野を教えるために開催している講演会です。
 企画・運営は甲南大学生が担当しています。

第4回 親子孫子で楽しむアート ～和紙で造形してみよう～

2016年10月9日（日）

10:00～12:30（30分前より受付開始）

場所 甲南大学18号館3階講演室

10:00～10:10 イン트로ダクション

10:10～12:00 制作

12:00～12:30 シェアリング

☆参加無料＆材料不要☆

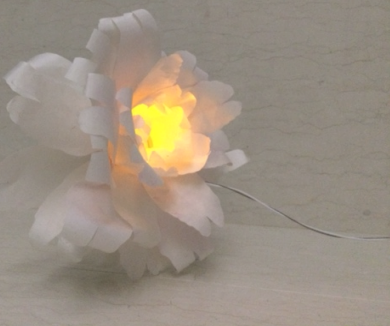
定員18名（先着順）

親子孫子でお誘い合わせの上、
お気軽にご参加ください。

特別な配慮が必要な場合は
事前にご相談ください。

講師 椋田三佳（美術家）

企画 内藤あかね（甲南大学心理臨床カウンセリングルーム相談員）



お申し込み・お問い合わせ

参加ご希望の方は、①名前②連絡先③e-mailアドレス（お持ちの方）
④専門職の方は所属先を明記し、10月7日までに甲南大学心理臨床
カウンセリングルームまでe-mail／電話／FAXでお申し込みください。

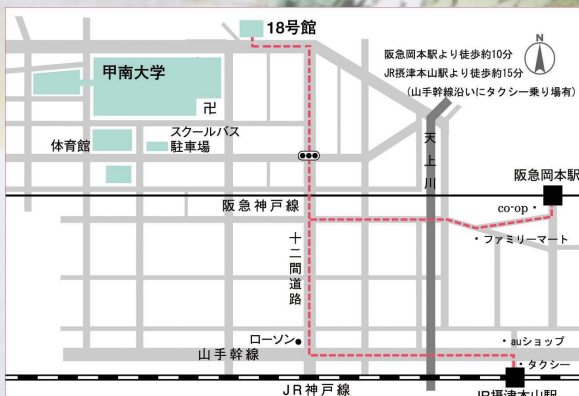
E-mail: cc-room@center.konan-u.ac.jp

電話／FAX: (078)453-6183（電話は10～17時まで）

親子孫子で楽しく健やかな時間を過ごしたい…。そんな風にお考えの方も多いのではないのでしょうか。今回で4回目を迎えるワークショップは、アート（表現行為）を親子で一緒に体験することで、創造的な時間を共有し、自分や家族の関係を見つめなおす時間をもたらします。

和紙は2014年に世界無形文化遺産に登録されました。今回のワークショップでは、この和紙を使って立体物を創作してみます。花びらの形に和紙をちぎってキャンドルライトをつくる、和紙とワイヤーを使ったオブジェをつくる…。手順は簡単でもどんな作品に仕上がるかは作り手次第。ご指導いただく椋田三佳さんは、水墨画家としてご活躍中で、誰もが気楽に楽しめる創作の時間を提供してください。また、アートセラピー（芸術療法）のワークショップもご専門であるため、心理学的にも有意義な体験となるでしょう。

アートセラピーとは？ 描画や造形などの創作・表現活動を介して、心身に働きかけ治療効果を促す心理療法の一分野です。精神医療施設や高齢者医療・介護施設では折り紙や貼り絵などのアートをアクティビティの一つとして採り入れています。今回のワークショップでも、そのような芸術療法、心理臨床、子育て支援、医療介護福祉に関心のある方々のご参加を歓迎しています。アートセラピーへの応用を考える上で、体験的な学びの機会になるのではないのでしょうか。



甲南アトリエとは？ 甲南大学のある阪神間は、画廊や美術館、美術教室、障がい者アートのアトリエも多く、古くから芸術にかかわりの深い地域です。また阪神淡路大震災や神戸大空襲に見舞われたこの地域では、トラウマに今なお苦しむ人もいらっしゃるかもしれません。そのような地域に根ざした活動を目指す甲南大学人間科学研究所では、臨床心理学と芸術学の専門家をメインとし、地域との協働によって「癒す力」と「育てる力」を育てていきたいと考えています。そして、地域に開かれた活動を目指す中で、実践プログラムとして「甲南アトリエ」と称して、子育て支援の研究会やワークショップを催しています。

本事業はJSPS 科学研究費助成事業（課題番号 25284046）「芸術学と芸術療法の共有基盤形成に向けた学際的研究」（代表：川田都樹子）の助成を受けたものです。

主催 甲南大学人間科学研究所
〒658-8501 神戸市東灘区岡本8丁目9番1号
電話／FAX 078-435-2683
E-mail kihs@center.konan-u.ac.jp
URL <http://kihs-konan-univ.org>